


# HAMLOG E-Mail QSL Ver4.8a

【本ソフトの相談室はこちら】

【皆さんのハムログQSL】

Mlqsl48a.exe (2022/11/27) 半自動インストール版のダウンロード Mlqsl48a.zip (2022/11/27) ZIP書庫版のダウンロード

電子QSLと交信の照合 受信した電子QSL表示 送信済み電子QSL hQSL通信設定と各局の参考例 電子QSL環境設定 QSLの定義 Rig/Antの編集  
バックアップ ビギナーモード Q & A メール特例 電子QSL送受信の流れ(PDF) 改訂履歴とその後の進捗 HAM World 2023年1月号で紹介

- ◎ HAMLOGユーザー登録済みであれば直ちにhQSL登録・運用ができ、HAMLOGユーザーリストに  表示される前でもhQSL運用が可能です。
- ◎ 旧バージョンをお使いの場合は、ブラウザを使うことなくhQSLヘルプメニューのバージョン情報から最新版の確認、ダウンロードとインストールができます。
- ◎ Yahoo、Gmail、ぶらら、BIGLOBE、OCN、@nifty、So-net、eo光、Sakuraiは、メールアドレスとパスワードだけでほぼ設定完了です。
- ◎ 半年送信していないとhQSL登録が抹消されます。(でも、すぐに再登録可能)
- ◎ 慣れていない方は、QSL定義ファイルを使わない【ビギナーモード】でお試ください。それでも十分使えます。
- メールによるhQSLやHAMLOGの問い合わせがありますが、作者一人ではとても対応できません。返事は無理です。

## (1) はじめに 【開発に至った経緯】

**HAMLOG E-Mail QSL** (略して **hQSL**) は、電子メールによりJPEG画像のQSLを送受信するアプリで、HAMLOGユーザー登録済みの局のみ使用可能です。

**HAMLOGユーザー登録者に限り使用できるガラパゴスな電子QSLシステム**ですが、もっぱら作者の趣味と技術的な興味で作成したものであり、紙のQSLカードやeQSL.ccを否定するものではありません。

## (2) 使用条件

hQSLは、HAMLOGユーザーリストへ登録済みの局に限り使用できます。いわゆる、フリーソフトです。

そして、hQSLアプリの通信設定画面にある **サーバに登録・保存** ボタンをクリックして登録した方に限り、電子QSLの送受信ができます。

## (3) 動作環境

hQSLは、Windows10上で開発していますので、Windows10やWindows11での使用を推奨します。一応、Windows7以上であれば動作する模様です。

一緒に動作させるTurbo HAMLOG/Win (以下「HAMLOG」という。) は、Ver5.30以上です。また、これに付属のHAMLOG50.DLLが必要です。

**hQSLは、HAMLOGと同じフォルダにインストールすることを推奨しますが**、違うフォルダにインストールする場合は、HAMLOG50.DLLをコピーしてください。

HAMLOGユーザーリストは、最新のものを使用してください。例えば、1ヶ月前のHAMLOGユーザーリストを使用していると、半月前に登録した局は掲載されていないので送信しません。

ウイルス対策ソフトは、Q5にあるとおり例外設定をしないと警告が出る場合があります。また、管理者権限で動作させた方が良い場合があります。

プロバイダのメール設定を把握しておく必要があります。ご契約のプロバイダの資料か、プロバイダのホームページでメール設定をご確認ください。

## (4) Windowsのセキュリティについて

拙作のソフトには、デジタル署名(ソフトウェア発行元証明書)がありませんので、発行元が不明なソフトとして扱われます。

メール送受信が上手くいかない場合は、ウイルスバスターやノートンなどが不正なソフトとして誤検知していることがありますので、設定をご確認ください。

また、**管理者権限**で動作させてみるとか、WindowsのUAC(ユーザーアカウント制御)設定を**最低(無効)**にしてみるなどお試しください。なお、作者は**一般ユーザー権限でUACを最低(無効)**にして動作させています。

## (5) おすすめのメールアドレスは?

**hQSL専用のメールアドレス**を用意するのがお勧めです。

普段使っているメールアドレスをhQSL用に使うと管理が大変です。hQSL専用のメールアドレスを使用しましょう。

また、JPEG画像をメール送信するため迷惑メール扱いされることがあります。迷惑メール防止機能は無効にしておいてください。

作者個人が開発用としてhQSL専用を使用しているメールアドレスは、@nifty、Yahooメール、Gmail、さくらインターネットです。

## (6) まずは通信設定(メールの設定)

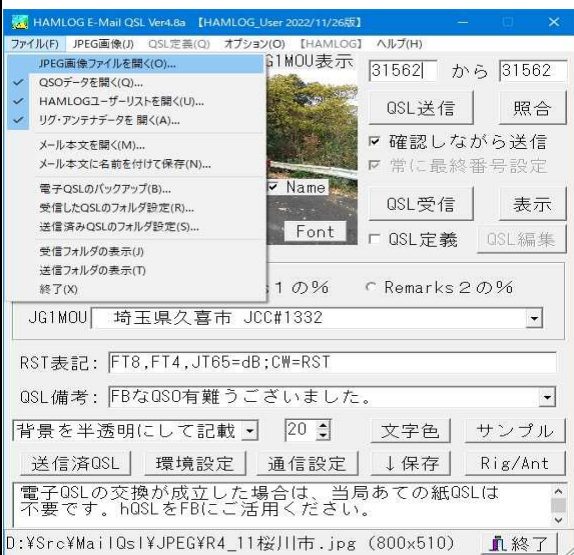
メニューのオプション(O) → E-Mail QSL通信設定(C)と進んでください。電子QSL環境設定(K)もあります。

**E-Mail QSL通信設定**に未設定の項目がある場合は、hQSLの起動直後に通信設定が勝手に表示されます。

【参考】[Yahoo!とGmailの設定方法](#) (Gmailのセキュリティ強化について/各局の参考例)

## (7) ファイルメニューから

初めての方はビギナーモードがお勧めです。



- ① 電子QSLの素材としたいJPEG画像は、あらかじめ電子QSL専用のフォルダにコピーしてまとめておきましょう。
- ② ファイル(F)メニューを開き、電子QSLの素材としたいJPEG画像を登録します。(ビギナーモード) 自分のコールサイン・QTH・オペレータネームなどは、あらかじめ画像に書き込んでおくとういでしょう。 **ファイル(F)**メニューを開いて好きなだけ登録してください。最大で30個まで登録できます。 ※QSL定義にチェックを入れた場合は、メニューのJPEG画像ファイルを開く(O)は無効となり、QSL定義ファイルを開く(O)が有効となります。
- ③ 次に、**QSOデータを開く(Q)**で登録します。 HAMLOG で使用しているHAMLOG.MSTファイルを開きます。これと同時に同じフォルダにあるHAMLOG.HDBファイル(QSOデータ)もオープンされます。 登録すると、メニューにチェックマークが付きます。 ※HAMLOGと同じフォルダにインストールした場合は、③の操作は必要ありません。
- ④ 次に、**HAMLOGユーザーリストを開く(U)**で登録します。 HAMLOGで使用しているUserlist.usrファイルを開きます。 登録すると、メニューにチェックマークが付きます。 ※HAMLOGと同じフォルダにインストールした場合は、④の操作は必要ありません。
- ⑤ 次に、**リグ・アンテナデータを開く(A)**で登録します。 通常、HAMLOGでQSLカード印刷時に使用している **RigAnt.DAT** というファイルです。 登録すると、メニューにチェックマークが付きます。 **Rig/Antボタン**で編集することができます。 ここで開かずにキャンセルすると、ファイル登録が解除されます。 普段、**RigAnt.DAT**を使っていない場合は、⑤を省略しても大丈夫です。 ※受信した電子QSLが置かれるフォルダは、初期設定ではhQSLのフォルダ内に**受信**というフォルダが作成されます。 受信したメール本文は、**QslMsg**というフォルダに置かれます。**QslMsg**フォルダは、**受信**フォルダと同じ階層に作成されます。 ※送信済みの電子QSLが置かれるフォルダは、初期設定ではhQSLのフォルダ内に**送信**というフォルダが作成されます。

### ・メール本文を開く(M)

相手方に送るメールの文章(メモ欄)を開きます。テキストファイルです。

### ・メール本文に名前を付けて保存(N)

相手方に送るメール本文に別の名前を付けて保存することができます。初期設定では**QslMessage.txt**です。

### ・電子QSLのバックアップ

ファイルのタイムスタンプを比較してコピーします。新たなファイルやタイムスタンプが新しいファイルだけコピーします。

### ・受信したQSLのフォルダ設定(R)・送信済みQSLのフォルダ設定(S)

初期設定ではhQSLをインストールしたフォルダに**受信**、**送信**というフォルダが作成されますが、ここで別のフォルダに変えることができます。

### ・受信フォルダの表示(J)・送信フォルダの表示(T)

Windowsの機能を利用してフォルダ内を表示します。アイコンを大きく表示させると見やすくなります。

(8) JPEG画像(J)メニュー ※QSL定義にチェックマークが入っていないときに有効となります。ビギナーモードです。

(9) QSL定義(Q)メニュー ※QSL定義にチェックマークが入っていると有効となります。(QSLの定義)

(10) オプション(O)メニュー

(11) 【HAMLOG】メニュー HAMLOG起動中に使用可能となります。(Alt+Lキーでも可)  
HAMLOGで表示されている局に対して電子QSLを送るなど、特定の操作をすることができます。

(12) ヘルプ(H)メニュー

取扱説明書 このページを表示します。

通信設定の説明

バージョン情報 最新版のリリース確認、ダウンロードとインストールができます。

表示内容は、プログラムのファイル名、受信・送信フォルダ、QSOデータ、ユーザーリスト、リグアンテナファイルです。

(13) QSL送信ボタン 電子QSLメールを送信します。

- 確認しながら送信 では、送信QSLを一個ずつ確認しながら送信することができます。
- 常に最終番号設定 では、送信レコード番号範囲指定に常に最終番号が入ります。

(14) 照合ボタン 電子QSLとQSOデータを照合の機能です。

(15) QSL受信ボタン 電子QSLメールを受信します。

(16) 表示ボタン

受信した電子QSL画像を表示(D)と同じ機能です。

受信した電子QSL画像を表示します。画像上で右クリックし、並び順を変えることができます。

Shiftキーを押しながら表示ボタンをクリックすると、ファイル時刻の新しい順で表示されます。

(17) □ QSL定義 ※チェックを入れなければビギナーモードです。

QSL定義ファイルに基づき、電子QSLを作成します。この機能に関係のない機能は無効となり、グレーアウト表示となります。

QSL編集ボタンにより、定義ファイルの内容を編集します。

定義ファイルは、縦横の座標以外はHAMLOGのQSLカード印刷定義ファイルとほぼ同じです。

(こんなにデザインが自由な電子QSLは、たぶん他に無いと自画自賛しています。Hi)

(18) 運用場所の出力 ※QSL定義をチェックした場合は機能しませんが、コンボボックスの内容は定義ファイルの ILC で出力することができます。

(19) RST表記 ※QSL定義をチェックした場合は機能しません。

(20) QSL備考 電子QSLのRemarks欄に書き込まれる文字列です。

※履歴を削除したいときは、ドロップダウンした状態でDeleteキーを押してください。

(21) □背景を半透明にして記載

※QSL定義をチェックした場合は機能しません。

(22) サンプルボタン 最近のQSOをサンプルとして、画像を表示します。

(23) Rig/Antボタン リグやアンテナの登録情報を編集します。

(24) メモ欄 (メール本文)

※QSL定義をチェックした場合は、IBO 変数で文字列を取り出すことができます。

ここに記載した内容は、メール本文として相手に届きます。

(25) 自局のリグ・アンテナ等について

HAMLOGで使用しているリグ・アンテナ情報を読み込みます。 RigAnt.DATというファイル名です。

Remarks 2かRemarks 1に Rig#数字 が指定してあれば、その数字の行のリグ・アンテナ情報。

Remarks 2かRemarks 1に Rig=文字列が指定してあれば、 Etc欄の文字列と一致する行のリグ・アンテナ情報。

Rig#とRig=が無ければ、一致する周波数の行のリグ・アンテナ情報。

(26) QSOデータの共有オープンについて

HAMLOG側が環境設定2の設定により、QSOデータの共有オープンで動作しているときは、hQSLも共有オープンで動作します。メニューの右端に共有と表示します。

これは、HAMLOGとhQSLが同時にQSOデータを使用することとなります。

この場合、hQSLで電子QSL発行済みや受領済みマークを書き込んでも、HAMLOGの表示には反映されません。

HAMLOGの再読み込みをクリックして再表示させる必要があります。

通常は、共有オープンの機能を使わなくても、HAMLOGで使用中のQSOデータをhQSLで使用することができます。

なお、共有オープンする／しないにかかわらず、hQSLでQSL送信や照合処理など時間のかかる処理中は、HAMLOG側の操作は避けた方がよいでしょう。おそらくエラーになります。

(27) ファイルの説明

MailQSL.EXE 実行ファイルです。HAMLOG E-Mail QSL アプリの本体です。(Delphi 3.1Jで作成)

hQsInst.EXE インストーラです。Turbo HAMLOG/Winのインストーラを流用(Visual C++ 5.0で作成)

nMail.DLL メール送受信ライブラリです。

MailQSL.INI ソフトが生成する設定ファイルです。本ソフトの設定情報が保存されていますので、たまにバックアップを取ってください。

(28) 動作環境

・Windows10 Pro(64)22H2、Windows10 Home(64)22H2 上で開発し、動作確認しています。Windows10、Windows11での使用を推奨します。

UACは最低にし、一般ユーザー権限で動作させています。

・Turbo HAMLOG/Win Ver5.30以上との併用

・最新のHAMLOGユーザーリストを使用

(29) 謝辞

メール送受信にあたり、nMail.DLLを使用させていただきました。

nMail.DLLは、有限会社軟式様が著作権を有する製品です。個人的な使用やフリーソフトへの添付は、フリーとのことです。

HAMLOG E-Mail QSL に関する問い合わせは、同社にしないでください。

動作確認にあたり、私の所属するじゃぱんひなたぼっこの会 J11LB会長をはじめ、皆さんにテストしていただきました。

本ソフトの作者は、JG1MOUです。

### (30) 改訂履歴 (2020/04/19にベータ版を公開してからの履歴)

#### その後の進捗状況 (ベータ版) MailQSL.zip 2022/12/08 16:00 ※Ver4.8aに上書きしてください。

- ・受信した電子QSLを表示させ、下部の受信テキストを編集できるようにしました。Tnx JM4QEX
- ・右上に[保存]ボタンが現れ、内容を上書き保存することができます。

#### Ver4.8a 2022/11/27

- ・Turbo HAMLOG/Win Ver5.37b(2022/11/27)以降に対応し、HAMLOG入力カウインドウや修正ウィンドウのQSLボタンで、Ctrl+クリックすると相手局に送ったQSLが表示されます。Shift+クリックすると相手局から届いたQSLが表示されます。
- ・メイン画面の「□受信後表示する」を環境設定の受信系に移動し、環境設定の送信系「□常にHAMLOG最終レコード番号を設定」をメイン画面に移動した。

#### Ver4.8 2022/10/25 20:30

- ・ファイル内のバージョン情報を書き換えるのを忘れていたので修正。機能的には10/24版とまったく同じです。

#### Ver4.8 2022/10/24 9:30

- ・ビギナーモードで環境設定-QSL送信系のName設定欄の記載内容に<BR>を入れると、その位置で改行して複数行記載できるようにした。
- ・定義ファイル中でJPEGファイルが開けないエラーを修正。
- ・【HAMLOG】メニューを改良し、HAMLOG上の該当QSLを1個だけ表示する機能を追加。
- ・Turbo HAMLOG/Win Ver5.37a(2022/10/24)以降に対応し、HAMLOG上のQSLボタンやQSLセルでダブルクリックすると該当QSLが表示されるようにした。

#### Ver4.7 2022/09/15 6:00

- ・ビギナーモード (定義ファイルを使わない) を次のとおり改良。

- \* 画素数の大きなデジカメ写真をそのまま開いても、画像をリサイズせず、またオリジナルの写真を書き換えることなく、それなりの電子QSLができるようにした。
- \* 画素数の大きなデジカメ写真をそのまま開いたときの電子QSLサイズ指定を環境設定に追加。
- \* 電子QSL上の自局コールサインの位置をマウスで調整できるようにした。
- \* 電子QSL上に自局オペレータ名を追加し、マウスで位置を調整できるようにした。
- \* 自局オペレータ名の記載内容設定は環境設定に追加。(Name設定)

- ・送信済みQSL一覧で、最下段に未受領の件数を表示するようにした。
- ・受信フォルダ・送信フォルダを変更するとき、確認のメッセージを出すようにした。
- ・ウィンドウを初期位置にする、がうまく機能していなかったので修正

#### Ver4.6c 2022/08/11

- ・レコード番号範囲指定の最初がとんでもない数字だった場合、300件の範囲に収まるように修正。
- ・HAMLOGとの同時起動で、300件以上が送信対象になってしまうことがあるので修正。サーバに負荷がかかるため。Tnx JO1QNO
- ・その他微調整。

#### Ver4.6b 2022/07/18

- ・QslMsgテキストファイルやINIファイルがバックアップできなくなっていたので修正。Tnx JE4NHC
- ・照合結果のメニューに「バンドモード別状況」を追加。エクセルに貼り付けます。
- ・その他微調整

#### Ver4.6a 2022/06/10

- ・ファイルメニューやRig/Ant編集画面からDX交信用のCTY.DATが開けないように修正。
- ・通信設定→メールの設定のアカウントは、簡略化のためメールアドレスと同じであれば空欄でもOKとした。
- ・簡単設定の場合でも、YBB以外はメールアドレスとアカウントが同じなので空欄とした。
- ・照合一覧や送信済み一覧のコールサイン検索で該当なしの場合、エラーになるので修正。
- ・照合一覧や送信済み一覧のコールサイン検索でEnterキーで検索実行できなかったので修正。
- ・サンプルの写真を変更

#### Ver4.6 2022/05/09

- ・送信済みQSL一覧のメニューの【J\*?\*\*\*】局あてに電子QSLを再送する(T)では、再送信済みであることがわかるように、再送信後、送信済みQSLのタイムスタンプを現在の時刻に書き換えることとしました。
- ・通信設定の画面上で右クリックしてもメニューは出ないようにした。
- ・照合一覧と送信済み一覧のポップアップメニューは、ゼロ行目をクリックしても表示されるようにした。
- ・環境設定のフィルタリング無しはわかりにくいので表現を変更。
- ・nMail.dll Ver4.04を同梱

#### Ver4.5a 2022/03/27

- ・通信設定の簡単設定メニューに、Yahoo!メールのymailとYBBを追加しました。
- ・簡単設定におけるGmailのSSLは、STARTTLSを初期値としました。
- ・通信設定に[PW生成]ボタンを追加。ランダムなパスワードをクリップボード上に生成します。

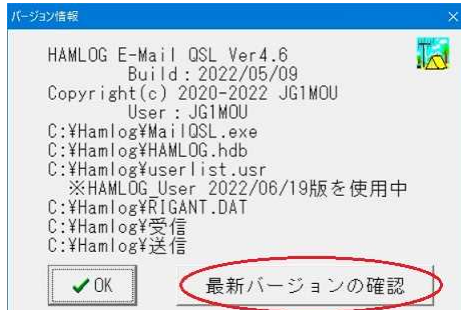
#### Ver4.5 2022/03/06

- ・照合結果のメニューに【J\*?\*\*\*】局あてに電子QSLを送信する(T)を追加 Tnx JH6QL
- ・照合結果のメニューに【J\*?\*\*\*】局に送った電子QSLを表示(Q)を追加。
- ・送信済みQSL一覧のメニューに【J\*?\*\*\*】局あてに電子QSLを再送する(T)を追加。送信フォルダ内の送信済みQSLを再送信します。

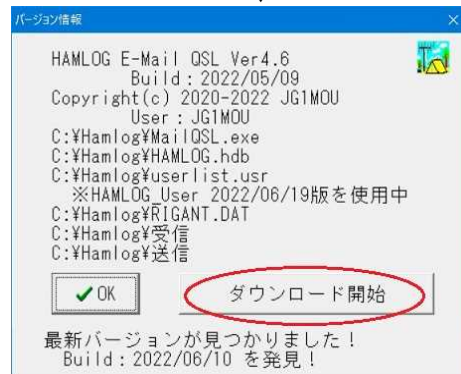
### 簡単なバージョンアップ方法

hQSLアプリのヘルプメニュー・バージョン情報から最新版のダウンロードとインストールができます。ブラウザを使うことなくダウンロードできます。

Ver2.7 (2020/11/28) から装備した機能です。



最新バージョンの確認をクリックしてください。



続いてダウンロード開始をクリックすると

次のメッセージが表示されます。

